

意見書

◆次期介護保険制度改正における軽度者への福祉用具、住宅改修の継続を求める意見書

次期介護保険制度改正に向けて社会保障審議会介護保険部会で議論されている軽度者に対する福祉用具、住宅改修の見直しについては、現行どおり、介護保険の保険給付の対象として継続することを国に強く要望する。

◆司法修習生の待遇改善と修習期間中の給費制の復活を求める意見書

給費制が廃止された結果、法曹志願者は激減しており、今後もこの状況が継続すると、司法を担う法曹の基盤の脆弱化や国民の権利保障の後退を招く事態になりかねないことから、司法修習生の待遇改善と修習期間中の給費制の復活を国に強く要望する。

※意見書は、衆参両院、国の関係機関に提出しました。

討論

〔27年度決算の認定〕

賛成 自民党

歳入では、市税の収入率が5年連続で向上しており、また、ミッドナイト競輪の開催による収益改善などを図っている。歳出では、鶴田第2土地区画整理事業において、早期進捗を求める陳情を採択した意義を踏まえた着実な対応を行っている。また、財政指標の面においても、引き続き健全性を確保している。歳入歳出ともに適正、公正かつ効果的・効率的に執行され、市民からの陳情や議会の意見も踏まえた執行を確実に実行していることを高く評価し、認定に賛成する。

反対 共産党

事業進捗の目途が立たないなどの理由により多額の繰越が出ているLR T事業、人口減少時代においては時代遅れであり民間活力に任せるべきで

ある高層マンションの建設を進める市街地再開発事業、多くの短期被保険者証発行世帯などを抱える国民健康保険特別会計の現状など、市民の暮らしをしっかりと支え、地方自治の本旨である住民福祉の増進に効果を発揮した決算とは言えないため、認定に反対する。

議員研修会を開催

9月21日に、帝京大学経済学部地域経済学教授の内貴滋氏を講師に招き、「地方創生に必要なもの〜一村一品運動、ふるさと創生政策を立案した立場から」をテーマに議員研修会を開催した。講師が携わってきた地



▲研修会の様子

方の活性化に向けた政策立案の経験をもとにした人口減少時代の地方議会の果たすべき役割についての講義に、参加議員は熱心に耳を傾けていた。

海外行政視察研修の報告会を開催

海外諸都市の先進事例を積極的に学び、グローバルな発想により課題解決に取り組むことを目的に、7月17日から22日までの6日間で、海外行政視察研修を実施した。また、10月18日に、視察議員による研修報告会を開催した。

【視察議員(10名)】

中塚英範、黒子英明、金子武蔵、増淵一基、駒場昭夫、渡辺通子、塚田典功、綱河秀二、渡辺道仁、鎌倉三郎

【視察先・視察内容】

シンガポール・都市計画など、台北市(台湾)・交通政策など、高雄市(台湾)・LRTなど ※視察報告書は、後日、

市議会ホームページに公開予定です。



▲海外行政視察研修の様子(左上:高雄市のLRT、右上:台北市のシェアサイクル)

市議会議員に対する民事訴訟について

西房美議員に対し、県社会福祉協議会への修学資金貸付金の支払いを命じる判決が確定したことを受け、議会としての対応を協議するため、9月23日に各会派代表者会議を開催した。

会議では、民事のことではあるが、返済を確認することや、市民に不信感を与えたことに対する反省を含めた文書の提出を求めること、成人式や卒業式への議長代理としての出席を差し控えることを決定した。

12月定例会の日程(予定)

月日	内容	時刻
12月6日(火)	本会議開会	午前10時
12日(月)~15日(木)	一般質問	//
16日(金)・19日(月)	常任委員会	//
26日(月)	本会議閉会	//

※上記日程は変更になる場合がありますので、ご来場の際は、事前にお問い合わせください。
議会事務局議事課 電話 (632) 2608

表紙写真について

宇都宮は、豊かな自然環境に恵まれ、お米作りに大変適した土地です。市では、宇都宮産米の味に子どもの頃から親しむ機会を提供し、米の消費拡大を図るために27年度から「うつのみやはじめてごはん事業」を始めました。表紙は、1歳6か月児健康診査の会場でお米を受け取る子どもと、そのお米を食べている子どもたちです。また、28年度からは、小学1年生と中学1年生のいる家庭に宇都宮産米を贈る「げんきにごはん事業」を開始しました。